

漢文 李白『静夜思』定期テスト対策問題 | 形式・押韻・対句・現代語訳の頻出設問と解答

組 番 氏名

/100点

本文

静夜思① 李白
牀前②看②月光③
疑④是④地上霜
举⑤頭⑤望⑤山月⑥
低⑦頭⑦思⑦故郷⑧

※ 「二…一」「レ」は返り点を表します（「二・一点」「レ点」）。

【書き下し文】

静夜（せいや）の思（おも）ひ 李白
牀前（しやうぜん）月光（げつくわう）を看（み）る③
疑（うたが）ふらくは是（こ）れ地上（ちじやう）の霜（しも）かと④
頭（かうべ）を举（あ）げて山月（さんげつ）を望（のぞ）み⑥
頭（かうべ）を低（た）れて故郷（こきやう）を思（おも）ふ⑧

設問

1. この詩「静夜思」の形式を、漢字四字で答えなさい。
2. 傍線部①「静夜思」とは、どのような意味か。題名の意味を現代語で説明しなさい。
3. 傍線部②「牀」の読み（ひらがな）と意味を答えなさい。
4. 傍線部③「牀前看_レ月光_一（牀前 月光を見る）」を現代語訳しなさい。
5. 傍線部③「看_レ月光_一」の「看」には、返り点として「二・一点」がついている。
 - (1) なぜ「看」に「二・一点」がつくのか、漢文の語順（読む順番）に注目して説明しなさい。
 - (2) 「看_レ月光_一」を読む順番を、漢字に番号をつける形（例…①②③）で示しなさい。
6. 傍線部④「疑_レ是地上霜（疑ふらくは是れ地上の霜かと）」について、次の問いに答えなさい。
 - (1) 「疑ふらくは～かと」の形に注意して、この句を現代語訳しなさい。
 - (2) 作者は、月の光を見て何と見まちがえたのか、本文の言葉を使って答えなさい。
7. 傍線部⑤「举_レ頭（頭を挙げて）」と、傍線部⑦「低_レ頭（頭を低れて）」は、作者のどのような動作を表しているか。それぞれ現代語でわかりやすく説明しなさい。
8. 「望_レ山月_一」の「望」と、「思_レ故郷_一」の「思」は、対句の中で互に対応している。この二つの動作の移り変わりから、作者の心がどのように動いていったかを説明しなさい。
9. 傍線部⑥「举_レ頭望_レ山月_一（頭を挙げて山月を望み）」を現代語訳しなさい。
10. 「低_レ頭」の「レ点」のはたらきについて、正しく説明したものを次から一つ選び、記号で答えなさい。
 - ア すぐ上の一字を、下の字の前に返って読むことを表す。
 - イ 二字以上へだてて上の字に返って読むことを表す。
 - ウ その字を読まずにとばすことを表す。
11. 傍線部⑧「低_レ頭思_レ故郷_一（頭を低れて故郷を思ふ）」を現代語訳しなさい。
12. 形式の見分け方について、次の問いに答えなさい。
 - (1) 一句は何字でできているか、漢数字で答えなさい。
 - (2) 全体は何句でできているか、漢数字で答えなさい。
 - (3) (1)・(2)から、この詩が「絶句」と「律詩」のどちらにあたるか答えなさい。
13. この詩で押韻している字を、本文中からすべて抜き出しなさい（句末の字に注目すること）。
14. 押韻について、次の問いに答えなさい。
 - (1) 押韻している字は、第何句の末にあるか。「第〇句」の形で、あてはまるものをすべて答えなさい。
 - (2) 五言絶句の押韻のきまりとして、原則として何句目と何句目の末で韻をふむか答えなさい。
 - (3) この詩は、その原則に対して、さらにもう一か所多く韻をふんでいる。その句を「第〇句」で答えなさい。
15. 第三句と第四句は、組み立てがよく似た対句になっている。次の語と対応している語を、本文中からそれぞれ抜き出しなさい。
 - (1) 「举（頭を挙ぐ）」と対応する語

◦ (2) 「望（望む）」と対応する語

◦ (3) 「山月」と対応する語

16. この詩の**主題（中心となる心情）**を、漢字を用いた四字以内の言葉で答えなさい（「○○の念」の形でもよい）。

17. この詩は、いつ、どこで、何をしているときの情景をよんだものか。本文全体をふまえて、簡単に説明しなさい。

18. 第一句・第二句（前半）と、第三句・第四句（後半）とでは、えがかれている内容に変化がある。どのように移り変わっているか、説明しなさい。

19. 【文学史】作者の李白について、次の問いに答えなさい。

◦ (1) 李白は、後世から何とよばれているか。「詩の○○」の形で、よび名を答えなさい。

◦ (2) 李白とならび称され、「詩聖（しせい）」とよばれた、同じ時代の詩人はだれか答えなさい。

◦ (3) 李白や(2)の詩人が活躍した、中国の王朝（時代）の名を答えなさい。

20. 【発展】この詩には、いくつかの本文の異同（版による字のちがひ）が知られている。

◦ (1) 第一句「牀前看月光」の「看」を、別の一字に置きかえた有名な形が伝わっている。その一字を答えなさい。

◦ (2) 第三句「拳頭望山月」の「山」を、別の一字に置きかえた有名な形が伝わっている。その一字を答えなさい。